



茨城県立水戸第二高等学校

校長通信

第5号

平成28年6月14日(火)発行

【4つの運動部で関東大会出場】

今年度もすでに4つの運動部が関東大会への出場を決めました。日頃の成果を発揮することを期待します。

〈なぎなた部〉今回は、団体・個人・演技の3つの種目全部に出場します。

団体(1チーム)

個人(5名) - 渡部 真衣(2年), 高橋 碧子(3年),
鶴田 美菜(3年), 笠倉 茉歩(2年),
桂木 真希(3年)

演技(1組) - 笠倉 茉歩, 桂木 真希

[会場] ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんま武道館

[期日] 6月4日(土)、5日(日)

〈ソフトボール〉創部以来、関東予選初優勝での出場です。

[会場] 千葉総合スポーツセンター 他

[期日] 6月4日(土)、5日(日)



【校長室にある優勝旗】

〈弓道部〉

団体(1チーム) - 池田 愛(2年),
川松 遥(2年), 猪野 友香(2年)

個人(1名) - 佐川 真穂(2年)

[会場] 栃木県体育館 本館 特設弓道場

[期日] 6月4日(土)、5日(日)

〈陸上部〉

橋本 春菜(3年) - 七種競技, 100H

岸田 祐花(3年) - 走幅跳

伊藤 薫(3年) - 走高跳

山口 優香(2年) - 400m

[会場] 駒沢オリンピック公園総合運動場

[期日] 6月17日(金)~20日(月)

【おめでとう！ 日本赤十字 国際交流派遣でシンガポールへ】

昨年度に引き続き、今年度も水戸二高から日本赤十字社 青少年赤十字国際交流派遣事業のメンバーが選ばれ、毛利 紗香さん(2年)が夏休みにシンガポールへ行くこととなりました。多くのことを体験してきてください。

【平成28年度 秀芳会総会開催】5月22日(日)

平成28年度の総会が、約250名の会員の出席のもと「大洗パークホテル」で行われました。総会後のアトラクションでは、茨城県磯節保存会による荒磯太鼓や「磯節」演奏と踊りを鑑賞し、最後に柏早紀先生の指揮の下、全員で校歌を3曲(明治44年と昭和10年制定の茨城県立水戸高等女学校校歌、昭和25年制定の現在の茨城県立水戸第二高等学校校歌)歌いました。



【会場の前で】

現在、秀芳会には「日立」「水戸」「東京」など25の支部があり、会員は自分の住所がある支部に所属します。秀芳会全体としては5月の総会と1月の新年懇談会があり、その他に各支部ごとの活動があります。総会は、支部ごとに持ち回りで担当し、今年度の担当は大洗支部でした。来年度は、友部支部が担当し、水戸で開催予定です。

皆さんも卒業後は秀芳会員となりますが、実際の活動は支部に所属してからとなりますので、覚えておいてください。ちなみに、私は10年程前から水戸支部の会員となっています。

〈「秀芳会」(同窓会の名称)の由来〉

寛政3年(1791)の正月に水戸藩六代藩主治保公が梅花を賞遊し、詩を吟じた。その後、烈公が先君文公遺愛の梅樹を「先春梅」と名付けて石碑に記文を刻み建立した。烈公はこれを記すにいたった事情と、自ら「先春梅記」と名付けたことを書き、最後に「銘」を書き添えた。その銘文には次のように記してある。

「先春梅記」

色秀衆樹 香掩群芳 高標廻絶 老幹屈強

一経諷詠 漸換星霜 遺愛長存 千秋弥章

(大意)

この梅の木は色の美しさが木々の中でもすぐれ、その香の素晴らしさは他の木々の花の香をおおうばかりだ。梢は果てしなく高く、老いた幹は力強い。ひとたびこの名木が詩歌に詠まれてからというもの、ようやく永遠なるものになった。文公の遺愛はいつまでも残り、千年の世までも伝わるのはまさしく明らかだ。

「秀芳」の由来は「先春梅記」のなかの「色秀衆樹」の「秀」と「香掩群芳」の「芳」をとり、名付けたことによる。

皆さん、是非、心のどこかで覚えておいてください。